

平成25年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市民芸術文化会館】

施設名	新潟市民芸術文化会館			
管理者名	財団法人新潟市芸術文化振興財団	指定期間	平成21年4月1日 ～ 平成26年3月31日	
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課			
所在地	区名	中央区	住所	一番堀通町3番地2
根拠法令	—			
設置条例	新潟市民芸術文化会館条例			
施設概要	設置：平成10年10月 施設規模：鉄骨鉄筋コンクリート造，延床面積25,099.9㎡ 施設内容：コンサートホール（1,994人），劇場（898人），能楽堂（382人），スタジオ（2室），練習室（8室），ギャラリー，展望ロビー，新津記念室 料金区分：午前，午後，夜間，全日の区分で場所ごとに料金を設定している。			

施設設置目的	
音楽，演劇，能その他の舞台芸術の振興を図り，もって市民文化の向上に資する。	

管理・運営に関する基本理念，方針等	
1	理念 芸術，芸術文化の継承と発展
2	期待される機能 【本質的な機能】 ・舞台芸術の振興 ・芸術文化活動の普及振興 【発展的機能】 ・都市の魅力の向上 ・良好な都市イメージを発信することによる，交流人口の拡大，経済波及効果の増大など
3	基本的使命 ① 市民の文化活動への支援 ② 質の高い専門性に富んだ芸術を鑑賞する機会の提供 ③ 文化を支える人材の育成 ④ 地域に根ざした文化創造

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
	1 基準利用者数の達成	年間利用者数339,000人以上	362,462人	A	
	2 基準稼働率の達成	コンサートホール稼働率 82.0%以上 劇場稼働率 78.0%以上 能楽堂稼働率 53.0%以上	コンサートホール稼働率 88.5% 劇場稼働率 77.6% 能楽堂稼働率 47.1%	C	コンサートホールを除き，昨年度実績より，稼働率が向上している点は評価できるが，より一層の改善に励まれ，指標の達成を望む。
	3 貸館利用者(主催者)満足度	貸館利用者の満足度調査で，90%以上	99.80%	A	大変高い満足度を得ており，評価する。
	4 貸館利用者の意見やニーズを聴取するしぐみの有無	実施していること	貸館利用報告書とアンケートが一体となっており，利用者の意見を聴取しやすい取り組みを行っている。また，イベントごとのアンケート集計を実施している。	A	
	5 貸館利用者に対するサービスの提供	4段階評価(※1)を行い，3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-1-④)	担当者・担当窓口を設置し，マニュアル等を基本としつつ，舞台装置の操作助言を行うなど，利用団体の特性や公演内容等に配慮した柔軟なサポートやサービスを提供している。	A	
	6 鑑賞者の満足度(※2)	創造系作品鑑賞者の満足度調査 鑑賞系公演鑑賞者の満足度調査 普及系公演鑑賞者の満足度調査 育成系公演鑑賞者の満足度調査 →それぞれ90%以上	創造系 88.7% 鑑賞系 90.1% 普及系 89.5% 育成系 91.6%	C	昨年度実績と比較すると，全体的に満足度が落ちており，努力が望まれる。

市 民	7	ホスピタリティに関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-2-③)	①ホスピタリティ向上の必要性をスタッフに徹底している。②職員の服装や身だしなみ、挨拶の励行を徹底している。③客席案内やもぎりなどのサービスに努めている。④利用者の意見を収集している。⑤ホームページやチラシに館のアクセス経路や問合せ先をわかりやすく掲載している。	A	
	8	会館会員サービス、チケット販売サービスに関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-2-⑥)	①機関紙・ニュースレターの送付、②チラシやダイレクトメールの送付、③メールでの情報提供、④会員先行予約・優先予約制度、⑤チケット割引制度、⑥カード決済、⑦チケットの事前郵送サービス、チケット購入者への駐車場割引サービス	A	
	9	飲食、物販サービスに関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-2-⑧)	ビュッフェ、レストランなどにも、利用者の声や要望を反映させ、地産地消の促進やサービスの改善に努めている。	A	
	10	年間公演回数(※2)	自主公演の年間公演回数が、118公演以上	235公演	A	
	11	年間鑑賞者数(※2)	自主文化事業の年間鑑賞者数が、100,000人以上	127,896人	A	
	12	ワークショップ数・アウトリーチ回数(※2)	育成系事業ワークショップ数・アウトリーチ回数が、年間6回以上	41回	A	
	13		普及系事業ワークショップ数・アウトリーチ回数が、年間5回以上	50回	A	
	14	育成系事業延べ参加者数(※2)	育成系事業の延べ参加者数 ジュニアオーケストラ(130人)、ジュニアコーラス(90人)ジュニア邦楽(30人)アプリコット(50人)以上	Jrオーケストラ130人 Jrコーラス 98人 Jr邦楽 36人 アプリコット52人	A	昨年度と比較すると、アプリコット以外、順調に伸びており、評価できる。
	15	創造系事業の実施(※2)	年間公演回数が、24回以上	22回	C	昨年度実績32回から、大幅に減少しており、実施努力を求める。
	16	創造系事業市外公演回数(※2)	年間公演回数が、14回以上	25回	A	目標を大きく上回り評価できる。
	17	公演や催し物情報の情報発信	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-2-①)	①機関紙・ニュースレター、②ダイレクトメール、③ホームページ、④Eメール、⑤チラシ・ポスターの掲示、⑥他の公演会場でチラシを配布、⑦テレビ・ラジオ、⑧新聞、⑨雑誌やタウン誌	A	
	18	地域アピールに関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-7-①)	演劇事業3企画において、県外公立館での公演を実施	B	
	19	会館記事の新聞掲載件数	名称や事業名等が新聞等に掲載された件数が年間150件以上	新聞 157回 雑誌 183回	A	
	財 務	1	文化事業 自主財源比率	鑑賞系75%、普及系75%、育成系30%、新潟発創造55%、全体60%以上	鑑賞系72.8%、普及系62.2%、育成系59.1%、新潟発創造79.9%、全体68.7%以上	B

	2	文化事業収入拡大に関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO C-3-②)	営業の担当者(部署)を置き、積極的にチケットの販売経路や顧客開拓、利用者拡大のための営業活用等を行い、事業収入の拡大に努めている。	A	
	3	外部資金導入額、導入率、外部資金導入に関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO C-3-①)	外部資金を戦略的に捉え、日頃から助成金の情報収集や企業に協力・協賛を依頼できる関係づくりを行い、積極的に外部の資金の獲得・活用に努めている。	A	
	4	経費の削減	指定管理料(管理経費・事業費補助)を年度協定額及び交付決定額以下 指定管理料 583,467,000円 ⇒ 変更協定により611,467,000円に変更 事業補助金 210,000,000円	指定管理料 602,199,439円 事業補助金 188,242,837円	B	光熱水費値上等による指定管理料の変更協定を締結した。これについては、止むを得ないものと考ええる。
	5	市の歳入の増加	使用料収入 68,000千円以上	72,463千円	A	
	6	一人当たり経費	(年間総支出額÷年間延べ総入場者数)が3,800円以下	3,233円	A	
業 務	1	長期的な視点にたった管理施設の保全	長期修繕計画を作成し、必要に応じて見直しを行う。	修繕計画がある	B	
	2	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	消防訓練、防災訓練を実施している。緊急時の迅速に、責任体制、マニュアル及び連絡網が整備されている。	A	
	3	事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底	AEDの操作訓練を実施している。	B	
	4	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	5	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	6	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	B	
	7	運営方針・事業目標の位置づけ	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-0-①)	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、劇場・ホールの事業や運営の指針となっており、達成目標が明確である。	A	
	8	運営方針、事業目標の市民への公開	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-0-⑥)	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	9	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-0-④)	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立てている。	A	
	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO C-1-①)	市と定期的なミーティングを実施しており、運営方針を踏まえながら、経費の節減や経営の効率化に取り組んでいる。	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	財団内に個人情報保護規定があり、研修が実施されている。	B	
	12	当該施設の管理に関する関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	内部研修を行っている。	B	

	13	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反に該当する問題はなかった。	B	
	14	広域拠点施設としての役割の認識の有無	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-8-①)	広域拠点施設と認識しており、文化庁の「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」の助成対象館になっている。	B	市内文化施設との連携事業の拡充が望まれる。
	15	他の公立館との共同・連携公演の有無・回数	共同・連携公演の回数が年間3公演以上	3回(ここでの回数は企画数を示す)	B	連携事業の拡充が望まれる。
人 材	1	専門性の高い人材の配置, 育成	館の各業務に必要な専門的知識や技能, 経験, 資格等を備えた職員を配置すること	専属の芸術監督やオルガニストを配置している。また、音楽・演劇・舞踏などの各分野において専門家からの指導・助言を受けているほか、外部主催の専門的研修会にも積極的に参加している。	A	
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO C-1-④)	組織内部での研修実施や、外部研修にも積極的に参加するほか、自主企画事業の実施を通じ、スキルアップを図っている。	A	
	3	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	労働基準法違反に関する事例はなかった。	B	

総合評価(所見)

・貸館利用者(主催者)の満足度については、99.8%の利用者から満足との回答を得ており、非常に評価できる。また、ホスピタリティの充実など、利用者の満足度向上に繋がる取り組みも充実しており、今後の継続を望む。
 ・基準稼働率の達成においては、昨年度と比較すると劇場と能楽堂において4%強達成率を伸ばしている点を評価するが、依然、劇場、能楽堂では目標値が達成されていない。今後、一層の取り組みを期待する。
 ・鑑賞者の満足度については、昨年度と比較すると減少しており、創造系、普及系では、目標である90%の満足を下回っており、改善を期待する。

評価基準

- A 要求水準(=評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
 B 要求水準(=評価指標)が達成されている。
 C 要求水準(=評価指標)が達成されていない。

※1	4段階評価は、「公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究 公立ホール・公立劇場の評価指針(簡略版)」(財団法人地域創造発行)に掲載されている「戦略・評価ユニット」により行う。 4段階(A) 継続とさらなる向上が期待される 3段階(B) ステップアップが望まれる 2段階(C) 見直しが必要である 1段階(C) 抜本的な見直しが必要である
※2	この項目については、(財)新潟市芸術文化振興財団が一体管理している音楽文化会館での業務内容を併せて評価しています。